

市報

やまぐち

COMMUNICATION PAPER YAMAGUCHI

主な内容

本号は16頁です

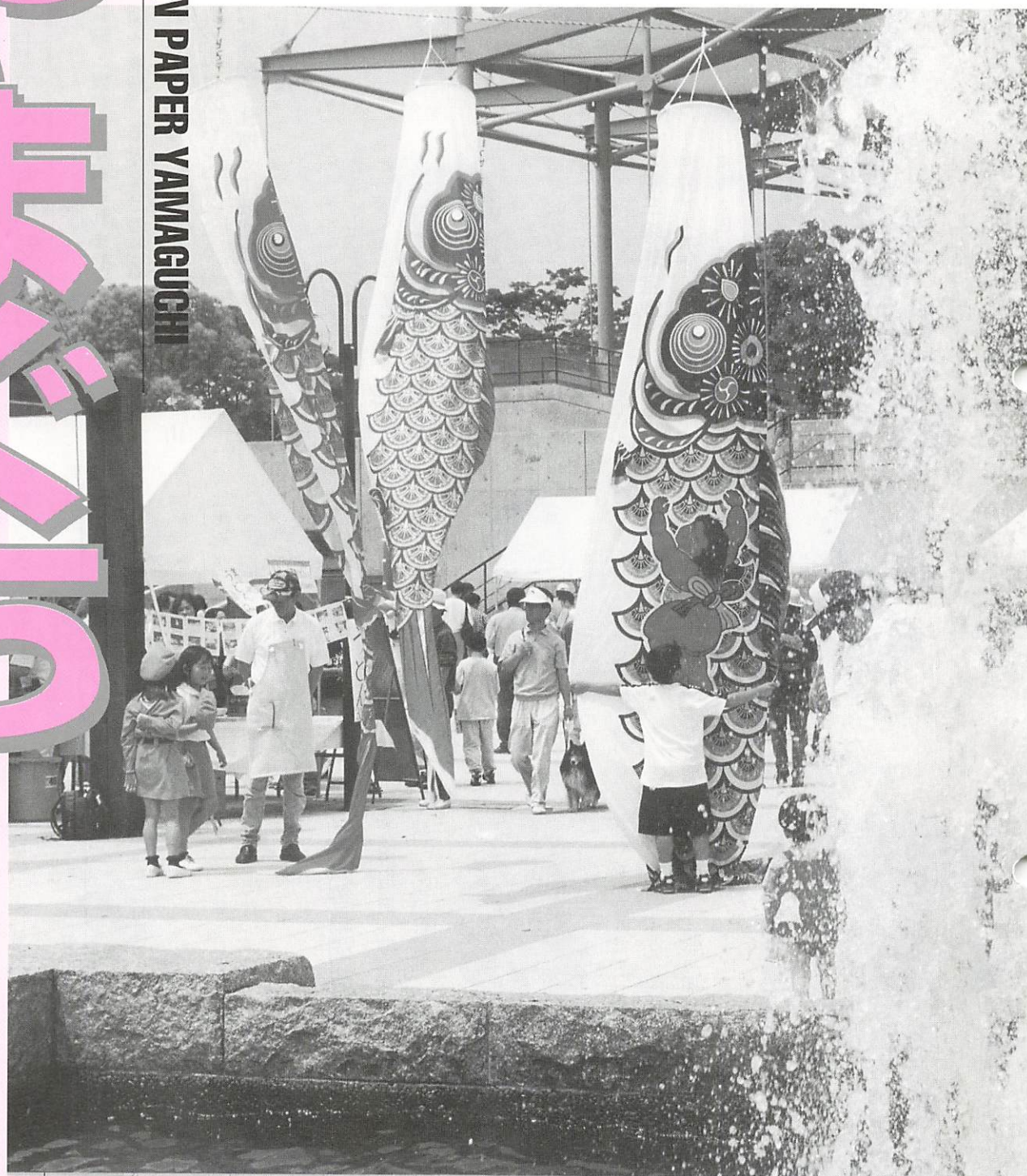
- 春の叙勲・褒章
- 山口市母子保健推進員
- ごみについて考える

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839-22-4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/森重印刷株式会社

市民交通災害共済受付中

毎月15日は、お年寄りの交通安全日
思いやりみんなですすめる交通安全
交通事故状況〈4月〉

- 発生件数 70 (累計 258 / 前年比 +55)
- 死亡者 0 (累計 3 / 前年比 +3)
- 負傷者 81 (累計 300 / 前年比 +56)



5/15

1997年No.1196

今年も盛り上がり！ 青空天国いこいの広場

5月5日こどもの日、毎年恒例となった「青空天国いこいの広場」が維新百年記念公園で開催されました。今年の日玉であった「熱気球体験飛行」は、強風のため開催途中で中止になりましたが、昨年の6万人を上回る8万人（主催者発表）で大にぎわい。この日、山口市の最高気温が30度近いという、夏を思わせる暑さで、来場者の皆さんも額に汗を浮かべながら、ゴールデンウィーク最後の休日を楽しんでいました。

■市報やまぐちは再生紙を使用しています。
(上段は、平成9年5月1日現在、下段は今年1月1日との比較)



137,721人
+530人



65,943人
+238人



71,778人
+292人



53,522
+581

春の叙勲・褒章

山口市から十一人の方が受章の荣誉に

平成九年の春の叙勲・褒章が発表されました。

長年にわたり、国や地域、業界などのためにそれぞれの分野で功績をあげられた方々です。おめでとうございます。山口市在住で受章された方は次のとおりです。お名前（敬称略）、功労概要、（一）内は年齢・住所・主要経歴です。皆さんに受章の喜びをお伺いしました。

春の叙勲

全国で四千五百八人の中から県内在住七十八人、市内からは十人の方が受章の荣誉に輝かれました。

〈勲三等旭日中綬章〉

富坂武士・教育研究功労（75・平井・山口大学名誉教授）



この章をもらい、一応人生の区切りがつかような気がしています。教え子が企業や大学の教授として第一線で活躍しているのが一番嬉しいですね。

村田憲太郎・教育研究功労（75・

吉敷・山口大学名誉教授）



思いがけず受章し有難いですね。教え子がコンピュータ関連の会社や高校の先生として活躍しているのが一番の喜びです。

〈勲三等瑞宝章〉

坂田ヤス子・教育研究功労（79・宮野・山口県立大学名誉教授）



まさかこのような身に余る受章をしようとは思いません。夢にも思いませんでした。有難いことです。が、いただく資格があるのかと心苦しく思っています。昨年亡くな

った主人も喜んでいてほしい。

吉村禎之・裁判官功労（71・湯田温泉・元



山口簡易裁判所判事）嬉しいですね。自分が仕事をしてきたことが認められたと思うと実感がわいてきます。一生懸命にやってきたのが良かったでしょう。

〈勲四等瑞宝章〉

井上保・地方自治功労（70・中央五丁目・元県議会事務局長）



まさかもらえるとは思っていません。難い一言につきましますね。諸先輩や皆様のおかげだと喜んでいきます。

平尾富士雄・地方自治功労（73・宮野・元県商工労働部長）



先輩や同僚のおかげで受章したのだと思えます。嬉しいですね。一生懸命仕事をしたのが認められたんだと思います。

〈勲五等瑞宝章〉

舛井博・地方自治功労（70・錦町・元山口県出納局長）



受章するとは思っていません。いなかっただけで辞退したい気持ちでした。先輩をはじめ、皆さんのおかげ、代表してもらったのだと思います。

〈勲六等单光旭日章〉

大田梅治・警察功労（74・小鯖・元山口県警部）



嬉しいですね。在職中上司から命令されたことを一生懸命やっただけです。それが認められたんでしょう。受章に恥じないよう何事にも取り組んでいきたいですね。

〈勲六等瑞宝章〉

野村晋治・消防功労（68・佐山・元山口市消防団分団長）



嬉しいのですが、思いがけないこととま

どつています。皆さんを代表して受章したのだと思っています。今でもサイレンが鳴るとヒヤッとしてますね。

山根政幸・消防功労（72・仁保・元山口市消防団分団長）



大変有難いことです。今でもサイレンが鳴ると必ず消防署へ電話して火災がどこか確認します。これからも地域の防災のために役立ちたいです。

春の褒章

全国で八百十人、県内在住十三人、市内からはお一人が受章の荣誉に輝かれました。

〈藍綬褒章〉

楢山泰太・保健衛生功績（64・駅通り二丁目・元（社）山口県歯科医師会副会長）



身に余る光栄です。これもひとえに先輩や同僚、後輩に恵まれたおかげと感謝しています。これからの微力ですが頑張りたいと思っています。

山口市＝「学園都市」を目指して

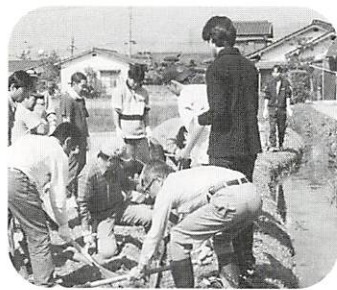
動きだした第5回山口学園都市フォーラム

山口市をはじめとした県央部2市2町（ほかに防府市、小郡町、秋穂町）には国立山口大学、山口県立大学の4年制大学をはじめ、専修学校等いろいろな高等教育機関があり、地域のひとつの特性となっていますが、一方でその特性を十分活かしていないのでは、という指摘があります。

地域にとって大学とは？また、学園都市とは？その問いかけに答えるための取り組みが今動きだそうとしています。

現在、地域と大学・学園との交流やネットワークづくりがいろいろな形で行われています。山口大学おもしろプロジェクトとして、山口大学の学生が中心となって企画された「春の小川ルネッサンス」めだかの学校も、めだかが泳ぐきれいな小川を再現しようとするものですが、一方で地域の人と学生が一緒になって小川づくり取り組みのところに、このプロジェクトのもうひとつの「意味」があります。

「地域と大学・学園はどのような関係をつくっていけばいいのか」



学生と地元の人との小川づくり（春の小川ルネッサンス 4/27）

は、地域と大学・学園との関わりとともに、まちづくりのひとつである「学園都市づくり」の有効性・必要性を講演会やシンポジウム、パネルディスカッション等を通して考えていこうと、平成5年度から五年間にわたって取り組ま

れているものです。開催地をリレーして実施されてきたフォーラムも、初回の山口市開催から昨年度で二市二町を一巡し、今年度の山口市開催で一応の節目を迎えることになりました。

去る四月二十三日に、山口学園都市フォーラム平成九年度第一回実行委員会が開催され、会長に選出された廣中平祐山口大学学長は、「過去四回で取り組まれた皆さんの夢や希望を引継ぎ、新しい出発点として取り組んでいきたい」とあいさつ。教職員の地域の人との交流づくりとは、「学生と地域の人とのつながりをどのようにつくっていけばいいか」など、過去課題として明らかにした点について積極的な意見交換がなされました。フォーラムの開催予定は十月。

平成9年度山口学園都市フォーラム
ワーキンググループ長



山口大学教育学部
今田 淳教授

いま、まちと大学には目に見えない「壁」があるような気がしています。その壁を取り払い、逆に目に見えない「ネットワーク」で結びつけていくのが、このフォーラムの目的です。大学の教職員もこれからもってまちに貢献していきたいと思っていますので、市民の皆さんも大学にいろいろな声を寄せてください。

「住民のための大学であれ」。

これが私たちの目標です。このフォーラムから未来へむけた提案ができればと考えています。

第五回山口学園都市フォーラム
開催日時（予定）
平成九年十月十八日（土） 午後
主会場
ニューメディアプラザ山口
（山口市熊野町）
*二市二町をテレビ会議システムで結び、「テレビシンポジウム」を開催する予定



第1回実行委員会
（写真左が廣中平祐会長）

開催に向けて今後引き続き協議・検討がなされます。

あなたの町の母推さん

山口市母子保健推進員

新人三十三人を含む八十三人の山口市母子保健推進員の委嘱状交付式が四月三十日、市保健センターで行われました。

母子保健推進員、通称「母推さん」は、妊婦さんや乳幼児をもつお母さんと市の保健婦を結ぶパイプ役。今年度から母子保健に関するサービスが市町村にまとめられたことから、その活躍がますます期待されます。

育児のよき相談相手として

母子保健推進員は母子保健に関心のある人たちの中から市長が委嘱し、任期は二年間です。

主な仕事は、家庭訪問をして母子保健事業や制度について説明したり、健康診査をすすめるなど、市民と市保健センターのパイプ役としての活動です。妊娠中と赤ちゃん誕生後に訪問し、妊婦さんや乳幼児を持つお母さんのよき相談相手になります。

平成八年度、十六地区の推進員が家庭を訪問した回数は約八千件になっています。



地域で

お母さんと子どもの健康を守る

母子保健法の改正にともなうて、出産から育児まで、また乳幼児保健について、母子保健事業の一貫したサービスの提供を住民の最も身近な市町村で行うことになりました。

昨年の四月から妊娠届け出先を市保健センターと市南保健センターの二か所にまとめたのも、母子保健事業の出発ともいえる妊娠届け時に、市保健婦が妊婦さんと直接対応し、安心して健やかに妊娠・出産・育児ができるよう制度

	氏名	住所	電話			
仁保	伊藤美恵子	赤田	24-2508	吉敷	伊藤美恵子	赤田 24-2508
	熊谷カズ子	下東	25-7401		熊谷カズ子	下東 25-7401
	中村なつ枝	赤田	22-0489		中村なつ枝	赤田 22-0489
	本城 節子	佐畑	24-1921		本城 節子	佐畑 24-1921
	黒川八千子	河内	25-3616		黒川八千子	河内 25-3616
小鯖	永久 正子	馬木領	24-1630	平川	永久 正子	馬木領 24-1630
	荒瀬 洋子	台	25-3441		荒瀬 洋子	台 25-3441
	名尾 房子	西	25-3676		名尾 房子	西 25-3676
	中川 昭恵	古曾中原	24-3813		中川 昭恵	古曾中原 24-3813
大内	藤村紀代子	神郷	22-2538	大蔵	藤村紀代子	神郷 22-2538
	河本 智子	下湯田	25-8162		河本 智子	下湯田 25-8162
	阿野由美子	中矢原	23-4625		阿野由美子	中矢原 23-4625
	宮成 眞澄	高井	24-2182		宮成 眞澄	高井 24-2182
	篠原 知子	矢原町	22-5378		篠原 知子	矢原町 22-5378
宮野	石光 敦子	富田原	24-1334	陶	石光 敦子	富田原 24-1334
	齊藤 正子	朝田	25-4099		齊藤 正子	朝田 25-4099
	前川美知子	中河原	86-3205		前川美知子	中河原 86-3205
	田辺 征子	郷下	0839-72-5972		田辺 征子	郷下 0839-72-5972
宮野	浜地 秀子	湯上西園地	86-3123	陶	浜地 秀子	湯上西園地 86-3123
	藤井 尚子	丸尾上	0839-72-6026		藤井 尚子	丸尾上 0839-72-6026
	岡屋 良子	上辻	86-2029		岡屋 良子	上辻 86-2029
野	波田タカコ	扇田	86-2428	鑄銭司	波田タカコ	扇田 86-2428
	松崎 芳子	今宿東	86-3689		松崎 芳子	今宿東 86-3689
	岡本富士子	岡	86-2154		岡本富士子	岡 86-2154
大殿	石田 美子	向山上	0839-72-0714	名田島秋穂二島	石田 美子	向山上 0839-72-0714
	中村 君江	新開作東	87-3006		中村 君江	新開作東 87-3006
	山本 榮子	仁光寺	87-2737		山本 榮子	仁光寺 87-2737
	平田 睦江	大里	87-2521		平田 睦江	大里 87-2521
白石	徳永志津江	惣在所	87-3144	嘉	徳永志津江	惣在所 87-3144
	中尾 久美	長浜	0839-84-2366		中尾 久美	長浜 0839-84-2366
	松村 桂子	宮の原	89-2660		松村 桂子	宮の原 89-2660
湯田	大田 洋子	赤坂	89-2399	川	大田 洋子	赤坂 89-2399
	有吉 悦子	下中野	89-2118		有吉 悦子	下中野 89-2118
	大田 靖子	中市	89-3110		大田 靖子	中市 89-3110
	長尾富美子	高見	89-3856		長尾富美子	高見 89-3856
吉敷	上田 町代	北の江西	89-4435	山	上田 町代	北の江西 89-4435
	藤井 妙子	幸の橋園地	89-3493		藤井 妙子	幸の橋園地 89-3493
	中尾 育子	深溝東	89-2034		中尾 育子	深溝東 89-2034
敷	梅本 富子	鳩岡	89-4205	敷	梅本 富子	鳩岡 89-4205
	松村 朝子	小路	89-4707		松村 朝子	小路 89-4707
	原田 淑子	須川後	89-4382		原田 淑子	須川後 89-4382
	藤井 良子	遠波	89-3476		藤井 良子	遠波 89-3476

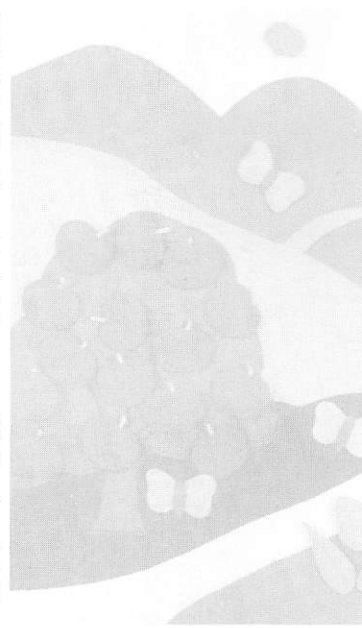


双子ちゃん大集合

このような母子保健のサービ
スを十分に活用していただくた
め、十六地区・八十三人の母子保
健推進員の活動がより重要になっ
てきます。それぞれの地域で生活
をともし、身近な相談相手とし
てお母さんと子どもの健康を守り
ます。

の説明や相談に乗るためです。

山口市が行う主な母子保健事
業は、妊娠届時や妊娠中の保健指
導、生後二十八日以内の新生児の
訪問指導、三か月児・七か月児の
乳児健康診査、一歳六か月児・三
歳児健康診査、保健センターや各
公民館で行う育児相談、母子保健
推進員や保健婦の訪問活動など
です。



進年しト創に
推周念スのど
健10記ベ志な
保成をタ有ト
母結年た員ト
市会8れ会ベ
協議成ら会ベ
山協作一。イ
協成り。で
作り。作利

元気ですか？ と 訪問活動



宮成真澄さん
(大歳地区・四期目)



二男五女のお母さん。ご自身
の育児をとおしても多くのお母さ
んと接してこられました。

「自分の子どもの手が離れる
と子育てのよさがわかるんですよ
ね。可愛くて、あふれるばかりの
生命力、子どもはすばらしい。子
育てって振り返ったとき、光輝く
ような思い出です」

「最近のお母さんをみると、
核家族化や少子化の影響もあつ
て、いろんな意味での体験が少な
くなっているので大変だと思いま
す。逆に情報は多くなっているの
でマニュアルどおりにいかないこ
とでイライラしたり。」

「予防接種は、後、風しんだけ
よね」と湯田地区母子保健推進員
の賀屋信子さん。五月一日、近所
の原田さんのお宅へ訪問活動です。

「四歳の智志と一歳の奏恵の二
人とも賀屋さんにお世話になって
います。病気の時はお医者さんに
行きますが、日常的な育児の問題
は何かと相談しています。すぐ答
えてもらえるし、ご近所に推進員
さんがいてくださって心強いかぎ
りです」とお母さんの原田まゆみ

お母さんも外に出て、いろん
な人と交流することが、ひいては
いい子育てにつながると思いま
す」。

乃美隆子さん
(吉敷地区・九期目)



母子保健推進員が集まり、会
員同士の連携や、お母さんや子ど
もたちの健康づくりを推進するの
が山口市母子保健推進協議会。乃
美さんは平成元年から協議会長を
つとめておられます。

「平成二年から、『子育ての輪
づくり運動』がはじまりました。
子育てサークル活動、ふれあい健
康まつりへの参加、広報紙『ここ
にこ通信』『ふうせん』の発行、
各地区の育児学級、むし歯予防教

さん(下市町)。

「訪問したとき、ちゃんと応対
していたけると本当にうれしい
ですね。町内会の会議で『子ども
が小さいときはお世話になりました』
とあいさつされたり、『こんなに
大きくなりました』って転勤先
からお子さんの写真のついた年賀
状や暑中見舞をいただくこともあ
ります。少しでもお母さんや子ど
もさんに喜んでもらえるようがんば
ります」と賀屋さん。

室、昨年は双子ちゃんサークル
もつくりました

今の若いお母さん自身が少子
化、核家族化の時代に育っておら
れます。相談相手や仲間がいれ
ば、それだけで育児の不安はずい
ぶん減ると思います。地区のサー
クルで『赤ちゃんのお風呂の入れ
方』を行ったりするのも輪づくり
です。

サークルの活動が終わっても
グループとして継続されたり、お
母さんたちが自主的にサークルを
つくれるのも、今後の一つの方
向性を示していると思います」。



一人ひとりの心がけで ごみが資源に変わります！

平成九年二月からビン・カンの分別収集が開始されましたが、各地区の方々のご協力で現在順調に分別がおこなわれています。

ビン・カン分別収集 2月から4月までの実績

種類	量 (t)	個数
アルミ缶	47	78万3千個
スチール缶	15	60万个
白色ビン	47	9万4千本
茶色のビン	64	12万8千本
その他	24	4万8千本

ビン・カンが分別収集されるようになったことよって、不燃物の収集量は昨年より二月が三十二・六%の減、三月が三〇・五%の減、四月が三六・一%の減となっています。

収集開始から三カ月が経過し、市民の皆さんから分別収集に関する質問が数多くありましたのでお答えします。

Q カンはつぶしてだしてはいけないのですか
A ペシヤンこにつぶれていなければOKです。

集められたカンはアルミとスチールに分けるための自動選別機に送られ、それぞれ分別されブロックにしますが、このプレスの際にペシヤンこにつぶされているカンはくっつきにくくブロックにしづらいのです。また、一斗カンは大きすぎて処理できませんので不燃ごみの日に出してください。

Q その他の青色コンテナにはどんなビンならよいのでしょうか
A 無色透明と茶色以外のビンになります。茶色のビンはビール

ビンが基本の色となります。ウイスキービンはほとんどが黒色でその他のビンになります。酢のビンなど少し青みがかった透明ビンもその他です。ビンを底の方から見て無色透明かそれ以外かを確認してみてください。また、その他のビンのコンテナに茶碗などの陶器や化粧品ビンが入っていますと収集できません。陶器や化粧品ビンは不燃物の日に出して下さい。



は不燃物の日に出して下さい。

Q ビン・カンを毎月の分別収集日に出せなかった場合リサイクルプラザに直接持ち込んでよいのですか
A 直接リサイクルプラザに持ち込まれても結構です。プラザは月曜日と祝日の翌日が休館日となっています。それ以外でしたら九時から十七時まで開館していますので申し出てください。

リサイクルプラザからお知らせ

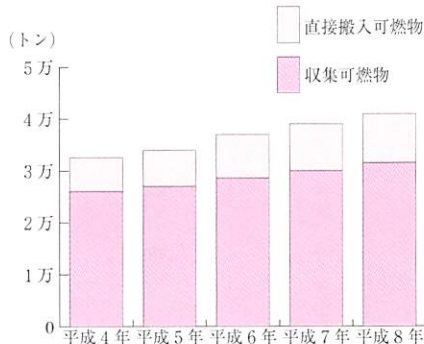
リサイクルプラザでは新聞・段ボール・古着を回収しています。新聞は広告を取り除いて半分にし、ひもで結んでください。段ボールも小さくしてひもで結び、はずれないようにして持ち込んで下さい。
古着はそのなかのきれいで包んで持ち込んでください。
詳しくは山口市リサイクルプラザ（☎27-7122）までお問い合わせください。

山口市の可燃ごみの現状

平成八年度中に山口市内で出された可燃ごみの量は四万八千九百十三トン。毎年、約二千トンの割合で増え続けています（グラフ参照）。その内訳をみるとパッカー車が収集して回る収集可燃物が三万四千七百七十五トン、清掃工場に直接持ち込まれる直接搬入可燃物が九千四百八十八トンとなっています。

また現在、清掃工場に搬入されているごみの量は、多い日で一日あたり三百五十〜三百六十トン（小郡・秋穂・阿東町を含む）と清掃工場の処理能力を大きく超えており、二十四時間体制で焼却しても追いつかない状況です。

過去5年の清掃工場へのごみ搬入量（山口市）



「一人ひとりの心がけで、ごみを減らすには？」
今、山口市では、一日一人あたり約八百四十グラムの可燃ごみを出している計算になります。ごみを全く出さないようにすることは不可能ですが、一人十グラム、両手ですくえる分ぐらいの減量はできるのではないのでしょうか。
例えば牛乳パックやトレイはスーパーなどの拠点回収に出す、買い物袋は持参する、過剰包装は断る、などが考えられるのではないのでしょうか。また市ではつくし推進事業、家庭用焼却炉・コンポスト容器の購入補助なども行っています。ごみの減量は一度にできるものではありませんが、一人ひとりが毎日の積み重ねによってごみを減らす努力が必要です。

四月二十五日、市の広報広聴モニターさんにリサイクルプラザと中部環境施設組合の清掃工場を見学していただき、その感想や自分なりのリサイクル・ごみ減量について意見を寄せてもらいました。ここでは、そのモニターさんの意見を紹介します。

ごみ減量 私の場合

宮野地区 藤井朝子

私の家では、生ごみをまったく収集の日に出していません。工夫すれば出さなくてすみます。野菜の皮などは乾かして焼いたり、土に戻したりしている。それ以外の生ごみはコンポストを利用。畑の肥料にしている。（山の中の農村だから…付近の住民もほとんどです）

ビン・カンなどは使用後必ず洗っておく。後でまとめてやるとめんどろになります。ひとつひとつやっておかないと。置くのも、分けてポリ袋に入れておきます。（なるべく中の見える袋に）間違えて入れてもわかるように。

ペットボトルでモグラよけ。その他花びんや貯金びんにするなど、再利用を工夫しています。ご

みに出すことより、もう一度使用することを考えることも大切だと思いますね。

自分くらいと思わずにひとりの少しがごみ減量につながると思います。

リサイクルプラザを見学して

陶地区 井本睦子

先日、リサイクルプラザ（愛称・エコパークやまぐち）を見学する機会にめぐまれました。

今年の二月から稼働を始めたプラザは、まずロビーに入るとペットボトルで作ったアーチが色あざやかに私たちを迎えてくれました。一階には市民工房があり、市民の方が修理したいものを持ち込み、技術者の指導を受けながら、自分で再生する体験ができる所です。ギャラリ

には、缶ビールのあき缶で作った灰皿や、古くていらなくなったネクタイで作った大きなパッチワークや、洋服のリフォームとかたくさんありました。そして、なんと一階にはお風呂まであるので、体験学習されたり、研修の後など利用されて



リサイクルプラザを見学されるモニターさん
（写真撮影：大殿地区広報広聴モニター 宮川安雄）

はいかがでしょうか。現在は沸かしておられるそうですが、来年からは新清掃工場の余熱を利用されるのか、さすがリサイクル！
二階にはセミナー室、図書室、研修室がありました。
リサイクルされるとはいえ、もっと私達一人ひとりがよく考え、自分の足元から、もっと小さな事から環境問題を見つめ直していかなければと思いました。

指定ごみ袋の開発を

湯田地区 内山久美子

清掃工場に一日に二十トンずつたまり続けているというごみの

山をのぞいて見ました。目についたのはダンボール。ドキリとしました。

「ダンボールはリサイクルの優等生。捨てないで回収しましょう。」そんなことは重々承知。けれど主婦にとって一番の問題は、カラスやネコによるごみあさりなのです。

収集日の朝、道路にごみを散乱させないためには、生ごみをダンボール箱に詰めることは必須です。リサイクルの優等生だとわかっている、です。それだけではありません。ダンボールは生ごみと一緒に燃やせます。ポリバケツのように回収の必要もありませんから、収集車が行った後、風におられて転がり、割れて飛び散るといったこともありません。

心苦しくもダンボール箱は生ごみ入れには最適なのです。そこでごみを減らす準備段階として、カラスやネコに破られない、しかも焼却炉を傷めない袋が必要です。

新たなごみを増やすから、という理由でこの方法はずっと二の足をふまれてきましたが、すでにダンボールという新たなごみを産んでいます。金網のごみ置場よりも、ポリバケツよりもごみへの意識を高め、道路を美しく保つため

には結局、最良の方法のような気がします。

私のリサイクル

嘉川地区 末永勝子

山の新緑、一枝毎の濃淡、それぞれ的美しさに心洗われながら、リサイクルプラザの見学に参加しました。二月から始まった分別収集の搬入広場です。施設もさることながら量もかなりのものでした。

ビンなど廃棄されるのではなく再利用を考えた収集は時代に即応したもので、主婦として対応できる部分から、私は中味をきれいに洗い、ラベルをはずし、中蓋まで取って出すように心がけています。

ビンの中蓋は熱い湯につけてマイナスのドライバーを差し込んで押すと簡単に取れます。ラベルは牛乳パックに水を張り、浸けておくときれいにはずれます。

また、生ごみも私共では菜園がありますので、土から取ったものは土に返そうを原則に堆肥作りをして美味しい野菜作りを楽しんでおります。

ごみの減量に取り組むのは生活そのものと考えて努力しております。

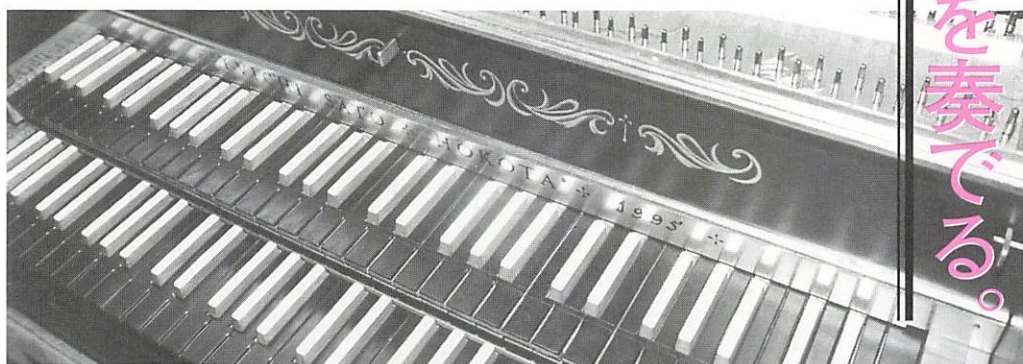
チェンバロを奏でる。

本年度、山口市文化振興財団では「春のコンチェルト」から「夏のラグタイム」（八月三日開催）へ続くチェンバロ連続コンサートなど、チェンバロの魅力を皆さんにお伝えする多くの企画を計画しています。

このチェンバロとはどのような楽器なのでしょう。その魅力について探っていくうち、山口とチェンバロとの不思議な縁も浮かんできます。

「はじく」楽器

「チェンバロ」(cembalo)は、鍵盤をたたいて音をだすところなど、ピアノと形態はよく似ていますが、その構造はピアノと全く異なります。「揆弦有鍵盤器」と定義付けられるチェンバロは、ピアノのように鍵盤を押すと内蔵されている弦をハンマーが「打って」音を出すのではなく、弦を爪で「はじいて」音を出す構造になっています。これはちょうど、マン



ドリンやギターを演奏する時にピツクで弦をはじくのと同様なのです。

チェンバロは既に十四世紀頃には存在していたといわれています。当時は小さな腕に抱えられるような長方形のものでしたが、その後の改良により、複数の弦を一

緒に演奏することができるようになるなど響きが繊細になり、かつ家庭やオーケストラ用に大型化され、一般的には三本の足をもつチェンバロへと発展してきました。

サビエルが献上

時は室町時代。京での布教ができなかったフランシスコ・サビエルは一五五一年に上洛する際に立ち寄っていた大内義隆（一五〇七〜一五五一）を再度訪問し、日本における実質的な布教を初めて許されます。

『大内義隆記』には、サビエルが大内氏に献上したいろいろな品が記されています。その中には「十三ノ琴ノ糸ヒカザルニ五調子十二調子ヲ吟ズル」もの、つまり、「日本の十三弦の琴のように直接弦をはじいて弾かなくても、種々の音がでる」楽器らしいものが含まれていたとの記述があります。これは小型の鍵盤楽器であったようですが、これが後のチェンバロではないか、といわれています。

オリジナルチェンバロ

山口市では、平成七年に市オリジナルのチェンバロを製作しました。このチェンバロは十八世紀

フレンチモデルと呼ばれるもので、全長二三六〇ミリメートル、全幅九四〇ミリメートルで二段鍵盤、音域は五オクターブあり、大内氏とサビエルにちなんで大内菱とサビエルの紋章が装飾されています。

このチェンバロはリサイタルなど、C・S赤れんがで優雅な響きを奏でています。

山口から発信

C・S赤れんがでは、平成八年度にチェンバロ奏者を養成することを目的として「チェンバリストセミナー」を開講しました。今年度はそれが、「(仮称)山口チェンバロの会」に引き継がれ、引き続きチェンバロ奏者養成の専門講習が行われています。現在、二十六名の方が会員として受講しています。

五月三十一日には会の特別講師でもある岩淵恵美子さんのリサイタルが催されます。岩淵さんは市オリジナルチェンバロ製作時に、演奏者の立場から「音」の仕上がりを見られた方で、チェンバロに魂を注入されたお一人です。チェンバロ奏者の育成。将来は山口から世界的なチェンバロ奏者が誕生することでしょう。

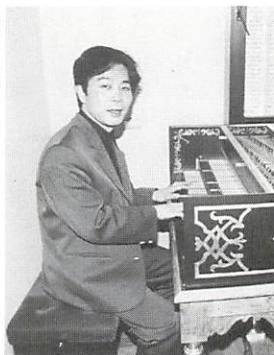
「素敵な音色なんです」

チェンバロ連続コンサート②

「夏のラグタイム」

チェンバロ奏者

中野 振一郎さん



私がチェンバロのいちばんの魅力として感じているのは「音色」です。チェンバロは、皆さんが思っている以上にその音はパワフルで、しかも、指先ひとつでいろいろな音が操れるため、私自身とても楽しく演奏できます。

山口は西洋音楽発祥の地といわれ、私にとってあこがれの場所です。八月にはC・S赤れんがでのソロリサイタル「夏のラグタイム」を行います。多くの方に会場いただき、チェンバロの魅力についてお話ししながら演奏したいと考えています。

今後、このような演奏会を続けていければと願っています。

山口市オリジナルのチェンバロもとても弾きやすそうですね。

こんにちは！皆さん



ゴールデンウィーク最終日だった、5月5日の子どもの日。夏を思わせる暑さの中、「青空天国いこいの広場」に来られたご家族にお聞きしました。

テーマは「休日の過ごし方」。



6月には家族がもう一人増える予定の西村英文さんご家族(大内)は、消防はしご車に乗ったあと、次に気球に乗ってみようと試乗会場に来られていましたが、天候により気球があがらず残念。

- Q 1 「最近テクノパークにある河原谷公園に遊びにいきます。遊具がたくさんあって子どもも大喜びです」
- Q 2 「県の児童センターや維新公園でしょうか」
- Q 3 「動物とのふれあいが好きなので、そのような場所にゆっくり行ってみたいです」

「今日、妻は仕事なので、娘と2人で遊びにきました」と話すのは、藤井尚文さん親子(宮野)。自動車関係のお仕事をされている藤井さんは、展示されていたレーシングカーに2人で試乗です。

- Q 1 「家族で近くに買い物に行くことが多いかな。天気がいいときなどは、弁当をもって秋吉台に行くこともあります」
- Q 2 「維新公園がいちばんです。家族でのんびり過ごすことができます」
- Q 3 「やっぱり旅行ですね。温泉が好きなので、温泉旅行がしたいです」



ご夫婦とも普段よりお忙しく、久しぶりに家族そろってのお休みとなった中野智昭さんご家族(白石)。今から、はしご車にのって、空からの会場見学です。こわくなかったかな？

- Q 1 「あまり遠くにはいかず、近くの公園で遊んだり、自転車で遊びに行ったりすることが多いでしょうか」
- Q 2 「児童センターや榎野川沿いの自転車道が好きですね」
- Q 3 「家族みんなで海外旅行がしたいです」



「青空天国いこいの広場」の会場で、スタンプラリーを楽しんでいた堀英樹さんご家族(平川)。会場の中にあるチェックポイントを全部見つけられたかな？

- Q 1 「仕事柄、土曜・日曜に休みが取りにくいので、休みが取れたときは家族と一緒にいる時間を大事にしています。最近では魚釣りに行ったり、アウトドアで楽しむことが多いですね」
- Q 2 「ニューメディアプラザ山口に行く子どもがとても喜びます」
- Q 3 「家族みんなで九州と沖縄をぐるっとまわってみたいです」



広島フラワーフェスティバルで仮装行列

5月3日、毛利元就ゆかりの地・7市町が広島フラワーフェスティバルで仮装行列を行い、フェスティバル開幕に花を添えました。そのうち、山口市は一行20名が大内義興とその家臣に扮し、約1.2キロを行列。降っていた雨も行列する時にはあがり、沿道のたくさんの人たちから拍手がおこりました。



れんげ畑で春を満喫

～97' 江崎れんげフェスタ～

4月29日、江崎にあるれんげの花の里で、97' 江崎れんげフェスタが催されました（主催：江崎れんげの花の里まつり実行委員会）。これは、イベントを通して農業・農村への理解を深めてもらおうと行われているもので、今年で3回目。好天に恵まれたこともあって、会場には1000人以上の人が訪れ、もちまき、○×クイズ、恒例となったれんげ畑での宝探し大会などの催しに参加。周辺20ヘクタールにわたって広がったれんげ畑で春の1日を満喫しました。



澄みきった青空のもとでさわやかにプレー

4月24日、維新公園陸上競技場で「第23回山口市健康増進福祉体育大会」が高齢者、身体障害者約1100人が参加して行われました。参加者は、澄みきった青空の下で玉入れや風船送りなどの競技に汗を流していました。選手を代表して岡野信人さんは「今日1日を健康で楽しく過ごし、なごやかにプレーすることを誓います」と力強く宣誓されました。

主なできごと（4/23～5/6）

4月

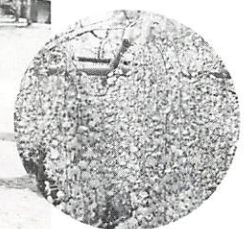
- 23日 山口学園都市フォーラム実行委員会
- 24日 第23回山口市健康増進福祉体育大会
- 27日 中原中也生誕90年祭（～30日まで）
- 28日 第2回中原中也賞贈呈式
山口市国際交流モニター委嘱式
- 29日 97' 江崎れんげフェスタ
- 30日 山口市母子保健推進員委嘱式

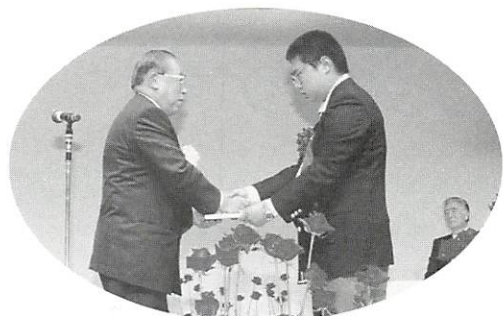
5月

- 1日 山口市交通指導員委嘱式
- 4日 藤見の会（～5日まで 法明院）
- 5日 第24回青空天国いこいの広場
- 6日 姉妹都市 韓国公州市からの派遣研
修生 陳 起蓮さん市長表敬
○7月29日まで、市国際交流室で
勤務されます

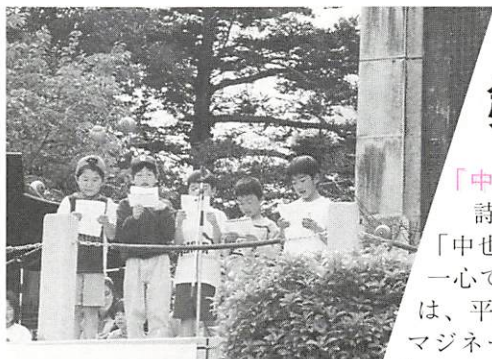
フジの花が咲くお寺で、抹茶の接待

5月4・5日の2日間、ふしの学園（小田孝園長）主催の「藤見の会」が宮野の法明院で開かれました。法明院は境内にフジ棚があることで有名なお寺。ちょうどフジの花が満開で見物客も多く訪れ、着物姿の園生がお客さんへ抹茶の接待をしました。また園生が作った萩焼のコーヒーカップや布製の袋、花の苗などの即売コーナーがあり、終日多くの人でにぎわいました。





第1回中原中也賞受賞の豊原清明さんに受賞作『夜の人工の木』の英訳本を佐内市長から贈呈



大内南小学校の児童の朗読



加藤登紀子さん



中原中也生誕90年祭と第2回中原中也賞贈呈式

「中也、公園に遊ぶ」／4月27日／湯田温泉・高田公園
詩の「青空朗読会」には飛び入りも含め約40人が参加。「中也の大ファン。平成DADAの皆さんにお会いしたい一心で来ました」と言われる石川県松任市の田中春美さんは、平成4年に中原家を訪問し作ったという詩『逆行のイメージーション』など自作の2冊の詩集から朗読されました。



田中春美さん

詩人の佐々木幹郎さんに「うまいねえ。来年は是非、朗読詩大賞に応募して」とすすめられたのは大内南小学校の児童21人。山本太起子先生は「国語の時間の詩を選ぶのも、自分たちの好きな詩集を図書館から借りてきたり、詩がすごく好きなんです。今日は100点満点。子どもは詩人ですね」とうれしそうでした。

このほか、ステージでは大道芸、シャンソン、福島泰樹コンサートなどが繰り広げられ、フリーマーケットも行われました。

第2回中原中也賞贈呈式／4月28日／ニューメディアプラザ山口

『・・・またこのたび力強い手に救われた。わたしには詩を書くことしかできない。書きたいことはいつも今ここにある。今この偶然によってつかまえられるすべてのものにことばをあたえていきたい。ありがとうございます。』

（贈呈式のプログラム「受賞の言葉」から）

『もしくは、リンドバークの畑』で第2回中原中也賞に輝いた下関市の長谷部奈美江さんに佐内市長が萩焼の盾と正賞の英訳出版の目録、副賞100万円を贈呈。

記念講演では詩人・小説家の辻井喬さんが「中原中也と日本人のコモンセンス」と題し「中也の詩は読みやすい表現の底に奥深さがある。つらさ、みじめさを隠そうとせず、生き方と作品が等身大」と話されました。



長谷部奈美江さん



辻井喬さん
谷川俊太郎さん



「中也、音楽堂に集う」／4月29日／維新百年記念公園 野外音楽堂

「山口市を朗読詩のメッカにしよう」と国内外の詩人が集いました。オープニングは第3回朗読詩大賞に選ばれた仙台市の大館仁さんと伊勢香さんのデュエットによる『無題』の朗読。おおかみ静流さんらの音楽をはさみ、アメリカのジェローム・ローゼンバークさん、日本から谷川俊太郎さん、佐々木幹郎さんたちが中也の詩や自作の詩を朗読、約500人の観客を魅了しました。

フィナーレは出演者全員と観客による中也の『サーカス』の朗読。『ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん』の大合唱で締めくくられました。

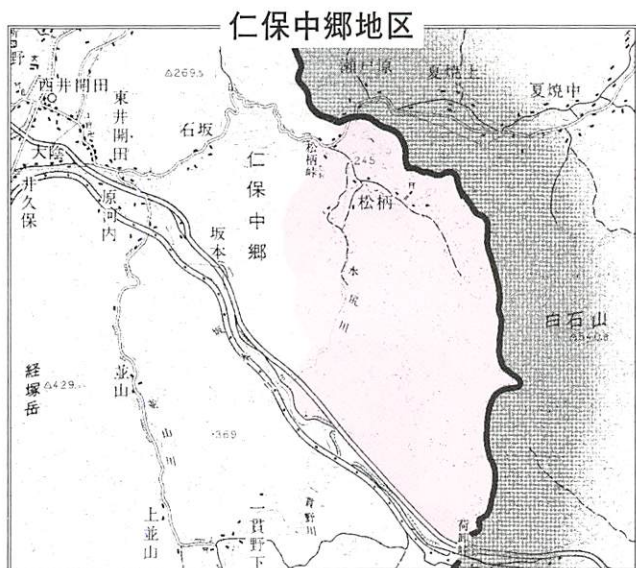


地籍調査からのお知らせ

◎山口市の地籍調査（今年度の調査区域）

山口市では平成2年度から仁保上郷地区において開始し、平成7年度より並行して佐山地区、平成8年度より仁保中郷地区で地籍調査を実施しています。

今年度の調査区域は、下図の区域を実施します。所有者の立会、境界確認が正確でないと正しい地図及び簿冊が出来ませんのでご協力下さい。



◎地籍調査とは

この調査は土地の戸籍調査ともいべきもので、今まで皆さんの土地のもとになっていた「土地台帳」や「分間図」をこの調査によって、一筆ごとの土地について、正しい位置、境界、地番、地目面積等を明確にし、新しい地図（地籍図）と、台帳（地籍簿）を作る重要な調査です。

◎地籍調査はなぜ必要か

現在の土地台帳、分間図は明治の初めにできたものであり、当時の測量技術の未熟さと、長い年月を経ている

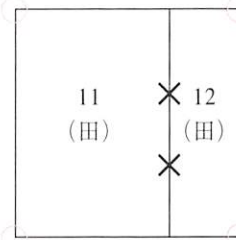
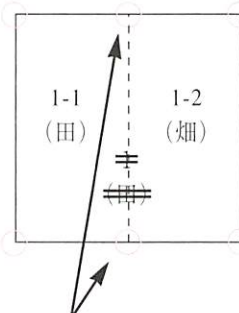
〇杭は大切にしましょう



ために、現況と必ずしも一致していません。そこで、あらゆる土地の一筆ごとの境界を最新の測量技術と精密な調査によって明確にし、皆さんの大事な財産とその権利を保護できるものにしなければなりません。

◎地籍調査で土地所有者は何をするのか

まず、隣接土地と、自分の土地との境界を明確に知ることが大切です。次に自分の土地の境界に、隣接土地所有者とよく相談されて、「自分の土地はここまで」ということをしめす杭を打っていただきます。もし、その土地が、山林や原野などで、雑草木の密集している場合は、境界線を中心に1メートル幅ぐらい早めに伐採し杭打ち、測量ができるようにして下さい。
1番(田)を1-1(田)、1-2(畑) 11番と12番を合併する場合(畑)に分割する場合



分割するところに杭を打つ

合併できるのは

- ・所有者が同一人であること
- ・現況地目が同じであること
- ・字が同じであること
- ・抵当権などの設定がないこと

地籍調査は、みなさんの財産についての大事な調査ですから、土地所有者の方々のご協力なくしては正しい調査ができません。また、これから調査や測量のために係の者が耕地、山林等に立ち入りますがよろしくお願ひします。詳しくは市林務水産課（☎22-4111）までお問い合わせください。

Uchida Yuki Concert Tour '97

～みんな DA・I・SU・KI!～

CMやTVドラマなどで活躍中の内田有紀が、山口にやってきました!

- ◆日時 7月27日(日)午後6時開演
- ◆場所 山口市民会館大ホール
- ◆入場料 4,500円(全席指定・消費税込み)※当日は300円増し
- ◆予約受付 5月17日(土)～23日(金)



・(財)山口市文化振興財団(☎20-6111)
 午前9時～午後6時
 ・ラグタイム(☎25-6843)
 日曜日を除く午前10時～午後7時
 ◆一般発売 5月25日(日)から
 ◆プレイガイド
 (山口市)山口市民会館、三好屋レコード店、山口十字堂楽器店、OK無線道場門前店 (小郡町)石井楽器店 (防府市)一番楽器店
 ◆問い合わせ
 (財)山口市文化振興財団(☎33-0505)へ

安心フェスタ開催 一モニター一短信一

5月24日(日)午前10時より、湯田小学校で「安心フェスタ」が開催されます。
 火事になった時、煙にまかれたりしないかしら? 消火器はちゃんと使える? 毎日使う自転車は、自分で整備できるかな? 自動車の運転技術を過信していない? 運転適正検査やはしご車試乗など、大人も子供も遊んで学べる、いろんな体験コーナーがあります。
 お昼にはさかなをつかみ取りして、その場でバーベキュー。きっと楽しい半日が過ごせることでしょう。できるだけ自転車でお越しください。
 (主催:湯田地区ふるさとづくり推進協議会)
 湯田地区広報広聴モニター 内山久美子さん

寄付ありがとうございます

山口ライオンズクラブ(石高雅美会長 会員七十八名)が、普段の学区区内の巡回指導に利用してくださると、各市立小学校に一台ずつ、計十八台のリサイクル自転車を送りました。石高会長は「リサイクル自転車の推進と、子どもたちへのリサイクル教育、そして巡回指導と一石三鳥です。六月までは福祉施設にも寄贈する予定です」と話しておられます。



国際交流モニター委嘱式

四月二十八日、山口市国際交流モニターの委嘱式が市役所で行われ、モニターさん五人が委嘱されました。このモニター制度は、住みよいまちづくりの実現のため、外国人の方からも広く行政サービスなどについての提言をしてもらうことを目的に、平成六年に発足したものです。今後モニターさんには、市の国際交流事業への協力、生活地域の状況や情報の提供などをしていただき、幅広い視野で市政への提言をいただきます。



故磯村英一氏

同和問題の解決は「国の責務」であり「国民的課題」であると、同和对策審議会の答申を受けて国を挙げての取組を始めたのは、一九六九年のことです。当時から同和对策審議委員を務め、人権教育啓発推進センター理事長でもあった磯村英一氏が、去る四月に亡くなりました。九十四歳の現役。最後まで理想と熱意は失われませんでした。
 同和对策関連の法律の「生みの親」ともいわれた氏が、答申の中に「国の責務」・「国民的課題」の言葉を組み込む苦勞をテレビで述べられて

同和問題を考える

「人権の世紀」を目指して

「国の責務」とする行政側の努力は、生活環境の改善、進学・就労促進など確かな成果を収めてきました。今春からは新たに、同和問題を核とした人権擁護施策推進法が施行されました。これは、いっそう人権尊重の教育を進めるとともに、人権を侵害された人の救済が主な柱となっています。障害者も、女性も、子どもも、外国人も、だれも差別されたり、差別をしたりしてはならない—これからは、わたしたち一人ひとり人権擁護に関わるか、自分の姿勢が問われることになりました。
 「人権の世紀」と呼ばれる二十一世紀が目の前となりました。時は移り、法は変わっても、先人の思いを受け継いで、自らの人権感覚を磨き続けていく努めを、これからますます大事にしていきたいものです。
 —平和な地球に全ての人間が住める「行進」を今こそ真剣に考えるべきである(磯村英一)—

リフレッシュ講座

- 日時 6月9日～10月13日の毎月第2月曜日、午前9時30分～正午
- 場所 山口市働く婦人の家
- 内容 「キッチンガーデン」「トールペイント」ほか
- 募集人員 30人（応募者多数の場合抽選）
- 会費 500円
- 材料費 1講座につき2,000円～3,000円程度
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・託児の必要な方は子どもの名前と年齢を記入し、5月30日までに山口市働く婦人の家（湯田温泉五丁目1-1 ☎21-1929）へ

レザークラフト教室（初心者）

- 日時 6月26日～11月27日までの第2・4木曜日、午前9時30分～正午（8月14日は除く）
- 場所 山口ふるさと伝承総合センター（下堅小路12）
- 内容 革工芸の基礎技法を学びながら造花、セカンドバックなどを作ります
- 講師 嬉とし子先生
- 募集人員 20人（先着順）
- 教材費 10,000円程度（全作品分）
- 申し込み 6月4日から山口ふるさと伝承総合センター（☎28-3333）へ

海外派遣農業研修生

- 応募資格 満18～30歳までの農業青年、あるいは将来就農、農業関係機関に就職、海外移住、海外協力などの目的を持っている青年男女（ただし年齢・資格条件等は、派遣先国によって異なります）
- 派遣先国 米国本土（2年制・1年制）、米国ハワイ州、デンマーク、ドイツ、スイス、オランダ
- 面接試験 8月中旬（予定）
- 申込期限 7月31日（木）
- 助成金 1人当たり250,000円
- 問い合わせ 農業改良普及センター（☎22-5249）または県経営普及課（☎33-3375）へ

市民パソコン講座

- 日時 6月23日～7月4日までの月・水・金曜日、午後7時～9時
- 場所 山口コンピュータ専門学校（富田原町2-23）
- 内容 表計算（エクセル '97）の基礎
- 対象 初心者
- 募集人員 30人（多数の場合は抽選）
- 受講料 1,000円（別途教材費2,000円）
- 申し込み 往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、5月30日（必着）までに市地域開発課（亀山町2-1 ☎22-4111）へ

親子ふれあい教室

- 日時 6月19日～7月17日までの毎週木曜日、午後3時30分～4時30分（全5回）
- 場所 サンフレッシュ山口（湯田温泉五丁目5-22）
- 対象 平成4年4月2日～5年4月1日生まれの幼児とその親
- 募集人員 15組（応募者多数の場合は抽選）
- 内容 親子体操、鉄棒遊び、マット遊び、跳び箱遊び、トランポリン遊び
- 受講料 1組1,000円（保険料を含む）
- 申し込み はがきに住所・氏名・生年月日および年齢（保護者・幼児）・電話番号を記入し、6月6日までに市教育委員会体育課「親子ふれあい教室」係（亀山町2-1 ☎22-4111）へ

山口の歴史と民俗講座

- 日時 7月～11月の第1・3水曜日、午後1時30分～3時30分
- 場所 市歴史民俗資料館
- 内容 「山口の仏像」「発掘から見た中世の山口」「毛利氏と山口」ほか
- 募集人員 35人（先着順）
- 受講料 無料（教材費は実費）
- 申し込み はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、6月2日～20日の間に市歴史民俗資料館（春日町5-1 ☎24-7001）へ

NHK公開録画

「ふるさと愉快亭」

「小朝が参りました」

○日時

六月十九日（木）午後六時十分開演

○場所 山口市市民会館

○出演者

春風亭小朝、三笑亭夢之助、桂三木助、桂竹丸、林家たい平、柳家喬太郎、百歳ゲストほか

○入場料 無料

○放送予定

八月三日（日）午後一時三十分～二時十四分（NHK総合テレビ/全国放送）

○申し込み

往復はがき（一枚につき一人分）の往信用裏面に住所・

氏名・電話番号を、返信用表面に郵便番号・住所・氏名を記入し、左記のところへ
〒753 山口市中央三丁目五十一
山口市市民会館

「ふるさと愉快亭」係

○締め切り

五月三十日（必着）

○問い合わせ

山口市市民会館「ふるさと愉快亭」係（☎3310505）またはNHK山口放送局「ふるさと愉快亭」係（☎2113704）へ

※応募者多数の場合は抽選となります。

※乳幼児の入場はお断りします。

ウィークエンドホームの登録募集

○事業の内容

養護施設等に入所している児童を週末（土・日曜日）に泊二日で預かり、家庭生活を体験させる

○謝礼

一回につき二千元

○申し込み・問い合わせ

中央児童相談所（大内御堀九二二一 ☎2217511）へ

催し物のお知らせ

6月2日は 自動車税の納期限です

4月1日現在で車をお持ちの方は、すでに郵送しています納税通知書により、最寄りの金融機関または県税事務所で自動車税を納付してください。

不明な点がありましたら、県税事務所(☎25-3111)へお問い合わせください。

シルバー人材センター 入会説明会

- 日時 5月20日(火)午後2時から(1時間程度)
- 場所 しあわせプラザ(上堅小路89-1)
- 対象 市内在住でおおむね60歳以上の健康な方
- 内容 入会手続きの説明、ビデオ上映など
- 問い合わせ (社)山口市シルバー人材センター(☎24-5396)へ

■5月30日(金)午後1時30分から、山口市民会館大ホールにて第12回通常総会を開催します。午後3時からの佐内正治・山口市長記念講演「高齢社会におけるまちづくり」には一般の方も参加できますので、お気軽にお越しください。



劇団はぐるま座公演 「高杉晋作と奇兵隊」

- 日時 6月6日(金)午後6時30分開演、7日(土)午後1時30分開演
- 場所 山口市民会館大ホール
- 入場料 一般3,000円、大学生1,500円、小中高生1,000円(いずれも当日500円増し)
- 問い合わせ 劇団はぐるま座(☎22-2674)へ

介護サービス技能審査

- 試験期日
 - ・学科試験 8月24日(日)・小郡町公民館
 - ・実技試験 9月20日(土)~11月16日(日)までの1日
- 受験対象者
 - ①介護業務に従事している老人福祉施設・病院などの職員および介護サービス事業者などに使用される者のうち、その主たる業務が介護などの業務で、9か月以上の実務経験のある者
 - ②介護業務について6か月以上の実務経験があり、厚生省の定めるホームヘルパー養成研修2級課程または1級課程の終了者
 - ③社会福祉士および介護福祉士法に定められた介護福祉士として登録されている者
- 受付期間 7月7日~22日の間に、(財)介護労働安定センター山口支部(中央四丁目5-16/山口県商工会館2階☎20-0926)へ

募集コーナー

エアロビクス教室

- 日時 5月29日~7月31日の毎週木曜日、午後7時~8時15分
 - 場所 山口南総合センター(名田島1218-1)
 - 対象 一般男女で運動ができる方
 - 募集人員 100人(先着順)
 - 講師 加藤舞踊学院エアロビクスインストラクター上村利香先生・三浦悠子先生
 - 受講料 1,000円(実費)
 - 申し込み 5月19日から電話(☎32-8333・小郡72-8333)または山口南総合センター窓口へ
- ※運動のできる服装で体育館用シューズ、バスタオル、汗拭き用タオルを持参してください。

やまぐち女性起業家 支援塾(入門セミナー)

- 日時 6月7日(土)午前10時~午後5時、8日(日)午前10時~午後5時30分
- 場所 山口県婦人教育文化会館(湯田温泉五丁目1-1)
- 対象 起業家を志す女性
- 募集人員 20人(多数の場合抽選)
- 受講料 4,000円
- 申し込み 所定の申込書に記入し、5月26日(必着)までに県中小企業課商業診断指導班(滝町1-1☎33-3196)へ

6月の不燃物収集日

2日(月)	仁保
3日(火)	上金古曾・下金古曾・天花・木町・八幡馬場・上古熊・古熊
4日(水)	吉敷
5日(木)	上堅小路・下堅上・大市諸願・太刀売・野田・大殿大路・西滝・東滝
6日(金)	大歳
9日(月)	小鱈
10日(火)	嘉川
11日(水)	佐山
12日(木)	(上・中・下)後河原・久保小路・新馬場・銭湯小路・相物小路・松の木町・中市・中河原
13日(金)	陶・鑄銭司
16日(月)	米屋町・御局小路・荒高・今小路・新天街・新丁・新道・早間田・新町・東惣太夫・西惣太夫
17日(火)	名田島・秋穂二島
18日(水)	(上・中・下)道場門前・鰐石・今市・今道・大附・天神通り
19日(木)	宮野
20日(金)	(上・中・下)清水・西白石・東白石・東糸米・西糸米・田町
23日(月)	熊野・泉町・湯屋町
24日(火)	大内
25日(水)	三和町・中讃井・竜王町
26日(木)	平川
27日(金)	西朝倉・前町・一本松・角下市町
30日(月)	朝倉中央通り・東朝倉・元町西・元町

○日時 5月28日(水)午後1時半(1時受付開始)

○場所 白石公民館

○相談内容 日常生活での法律の問題に関すること

○相談員 弁護士

○問い合わせ 市広報広聴課

書などを
詳細い書類(登記、契約

※行政相談は、市民相談室、行政監察事務所(☎22-11590)で常時受け付けています。

※ご相談に際しては、

市民
無料法律
相談

☎22-41111へ

編集後記

▽二番咲きのアヤメの花が開き、クチナシの花のにおいが大変良い。遅咲きのカトレアの香りが部屋いっぱいには充滿している今日である。

▽市内の観光地はどこでも毛利元就ブームで、あちこちで観光客のカメラで写してほしいと頼まれ、ハイ、チーズと、撮ってあげた。

▽市報も行政から市民の皆さんへ周知するお知らせも大切ですが、一般市民の登壇で、身近な人がこんなことを話している、書いている、市報は市民のものだと実感できるものでありたいと願っています。

健康コーナー

ツベルクリン反応検査 ・BCG接種

- 期日
 - ・ツベルクリン反応検査…6月11日(水)
 - ・BCG接種…6月13日(金)
- 受付時間 午後1時30分～2時30分
- 場所 市保健センター(糸米二丁目6-6)
- 対象 生後3か月～4歳未満の者で、BCG接種未接種者または再検査者
- 対象地区 大殿・白石・湯田・仁保・小鯖・大内・宮野・吉敷・平川・大歳
- ※予約制です。事前に申し込んでください。
- 申し込み 市保健センター(健康増進課☎21-2666)へ

休日当番医

6月1日(日)
【山口市医師会】

- ◆診療時間 午前8時30分～午後5時30分
- ・内科系 牧野医院☎山口22-0885
- ・外科系 淵上整形外科☎山口22-6644

【吉南医師会】

- ◆診療時間 午前9時～午後6時
- ・内科系Ⅰ 林病院☎小郡72-0411
- ・内科系Ⅱ 共立病院☎宇部65-2200
- ・外科系 林病院☎小郡72-0411

訂正

5月1日号「市報やまぐち」の16ページに掲載した、健康診査指定医療機関(子宮がん検診)の表中、(綜)山口赤十字病院の検診日に誤りがありました。訂正してお詫びします。

(正) 月・金曜日
(誤) 月～金曜日

催し物とお知らせ

心身障害児の療育相談

- 日時 6月12日(木)午後1時30分～4時30分
- 場所 山口県身体障害者福祉センター(八幡馬場36-1)
- 対象 心身に障害がある(疑いも含む)乳幼児とその保護者
- 相談担当者 小児科、精神科、整形外科の医師ほか関係者
- 持参品 母子健康手帳
- 問い合わせ 市高齢障害課(☎22-4111)へ

5月21日～31日は「家内労働旬間」です

- ☆家内労働を行うときは、必ず委託者から家内労働手帳の交付を受けて、きちんと記入してもらいましょう。
- ☆作業における災害を防止しましょう。
- ☆「インチキ内職」には気をつけましょう。
- 問い合わせ 山口労働基準局賃金課(☎22-1144)へ

6月1日～7日は水道週間「限りあるいのちの水を大切に」

- 蛇口のパッキン無料取り替え
- 期間 6月1日(日)～7日(土)
- 対象 蛇口のパッキン(井戸水および特殊な蛇口のパッキンは除く)
- 申し込み 市水道局(☎22-0004)または市指定業者へ
- ※例年実施しています「水道まつり」は、水道局内の水源地施設更新工事のため、本年は中止します。
- ※5月28日(水)午前10時から、仁保川河川敷(水道局裏)で幼稚園児を招待し、鯉の放流を行います。(雨天中止)
- ★上下水道料金のお支払いは、口座振替制度をご利用ください。

松くい虫防除実施

- 市では、松くい虫の被害を防ぐため、仁保地区の下記の区域でヘリコプターによる松くい虫の防除(空中散布)を行います。ご協力をよろしくお願いいたします。
- 区域 上郷・松柄・丸山・一貫野
- 期日
 - ・1回目:6月4日～6日
 - ・2回目:6月25日～27日
- 時間 午前5時～11時頃まで
- 散布方法 スポット散布
- ※天候等により順延することがあります。
- 問い合わせ 市林務水産課(☎22-4111)へ

電話加入権の公売

- 市では、市税・国民健康保険料の滞納により差し押さえた電話加入権を、入札により公売します。
- 日時 5月28日(水)午前9時40分から
- 場所 市役所2階第2会議室
- 持参品 印鑑、身分証明書(運転免許証など)、入札予定金(50,000円以上・消費税別途)
- ※本人以外の方が入札する場合は、委任状が必要です。
- 公売する加入権 1件
- 問い合わせ 市収納課(☎22-4111)へ
- ※市税等の納入により、当日公売を中止する場合がありますので、ご了承ください。

岩淵恵美子 チェンバロ・フォルテピアノリサイタル

- 日時 5月31日(土)午後6時30分開演
- 場所 クリエイティブ・スペース赤れんが(中河原町5-12)
- 曲目 「ソナタニ長調Hob.XVI/24」、「ソナタイ短調Fk8」ほか
- 入場料 一般2,500円、学生2,000円(いずれも当日500円増し)
- 問い合わせ 河本基實さん(☎23-5244)へ

商業統計調査に ご協力ください

通商産業省では6月1日現在で「商業統計調査」を実施します。この調査は、卸売業、小売業を営んでいるすべての商店を対象とするもので、商業の国勢調査ともいうべき重要な調査です。県知事から任命された商業統計調査員が調査票を持って訪問しますので、ご協力をお願いします。

提出された調査票は統計法によって厳重に秘密が守られます。

- 問い合わせ 市広報広聴課 計担当(☎22-4111)へ

都市計画案(道路および公園の区域)説明会を開催します

市中園町一帯の整備計画として先に策定いたしました「やまぐち情報文化都市基本計画」に伴う都市計画案(道路および公園の区域)の説明会を、次のとおり開催します。

- 日時 五月二十九日(木)午後二時～、午後七時～
- 場所 山口県労働者福祉文化中央会館四階会議室(緑町三二二)
- 問い合わせ 市新都心建設課(☎22-4111)へ